

輝 ねむろ

We Love Nemuro!



人との出会いは人生のチャンス



ペンキを塗らない箇所にテープで養生をする小山さん

「ここまで来るには、いろいろな方のご縁とご恩のおかげです」と笑顔で話してくれたのは、根室初のゲストハウス「とまや」のオープンを目前に控えた小山けい子さんです。ゲストハウスとの出会いは、石垣島に移住した友人から、日本最西端の島・与那国島にある民宿を紹介されたのがきっかけ。その宿で時間を自由に使い、思う存分島の自然に触れるうちに、故郷・根室に思いを馳せたと言います。

「根室の景色・環境が、人に恵まれる自分を創ってくれた」と深く感じ、戻りたいという意識が一層強まったと同時、時にゲストハウスを根室でもやってみたいと思うようになり、帰郷後もその思いを持ち続けていた時に、知人の紹介で市内に物件が見つかったため、勤めていた会社を辞め、開業を決意したそうです。いろいろな人に出会ったおかげで、一人また一人と、改修作業を手伝いに来てくれ、「根室の人の温かさを感じる」ことが出来ました。根室の素晴らしさを多くの人に伝えたいと話します。

profile 小山 けい子 さん

市内発のゲストハウス「とまや」

1967年生まれ根室市出身。札幌大学女子短期大学部卒業後、東京で18年間雑誌やウェブページ関係に携わる。2007年に帰郷し、マスコミ関係に勤務。2014年3月に「とまや」をオープン予定。趣味は犬の散歩とアウトドア。



子育てにも、図書館の恩恵を！

図書館休日の月曜日、娘や妻を職場に送り出した後、我が家の居間で、僕はコーヒーを飲みながら一人でゆっくり本を読んだり、いろいろなことを思ったりすることが好きです。アウトドア派の僕にとって、ランニングや体を動かす毎日だったので、図書館に勤めてからは、「静かな時間を持つことも素敵だな」と感じる心の成長をさせてもらった気がします。

子育てにおいても本当に図書館は影響を与えてくれました。現在「ブックスタター」事業で、赤ちゃんのときから読み聞かせをして、親と子で親しんでもらおうと絵本をプレゼントしています。それは絵本のもつ力が素晴らしく、子どもの成長や親子関係に良い影響を与えることから始まった事業です。我が家のブックスタターは、数十年前から実践をしていて、娘たちが、小学校2、3年生くらいまで続けていたの思い出します。赤ちゃん絵本三部作の『みんなだね』『じゃあじゃあびりびり』『はいばい』(まっこのりこ作)が、娘一人とても大好きで、2セット購入したこの絵本がボロボロになるくらい読んであげたことを思い出します。結果、娘と父親の信頼関係がこれで得られたと確信しています。我が家にとって図書館は常に身近であり、どんなに大変な時でも乗り越えられて来たのは、図書館からたくさんのお恵みを受け取れたからこそだと思っています。

ぜひ、みなさんも図書館をもっと身近なものにして、子育てや生活に役に立ててほしいと心から願っています。

図書館からの おくりもの

司書補 中村 英博
図書館 TEL (23) 5974 番

